

草津市 産業振興計画

2023-2032

Kusatsu City Industrial Promotion Plan

草津市産業振興計画の概要 および 令和7年度の主な取組について

草津市 環境経済部 商工観光労政課

持続可能な**未来**に向けて
新たな**価値**を生み出す
人が交わり・魅力あふれるまち **草津**

草津市産業振興計画について（概要）

○計画策定の背景・趣旨

我が国におきましては、企業における人材不足や事業承継問題の深刻化、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少といった、業種を問わない共通の課題が生じていることや、新型コロナウイルス感染症により、世界中でビジネスモデルの変更を余儀なくされるなど、暮らしの在り方にも大きな変化が生じています。

また、持続可能な社会を目指したSDGsの推進をはじめ、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現やSociety 5.0の実現が求められており、経済発展と社会課題の解決を両立した社会の実現に向けた取組が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、**本市経済の発展と市民生活の向上を図ることを目的として、「草津市産業振興条例」を制定するとともに、産業全体の中長期的な方向性を示す計画として、「草津市産業振興計画」を令和5年7月に策定**しました。

○ポイント

計画期間：令和5年度～令和14年度（10年間）
→ 社会情勢の変化等を踏まえて5年を目途に見直し

対象業種：産業全般（農業を除く）
→ 6次産業化や農商工連携などの領域は対象分野
→ 業種を問わない共通課題に対応するため、工業・商業・観光など、個別の業種に限定した構成にはしていない

推進体制：10年後に描く「目指すべき姿（＝本計画のビジョン）」の実現に向け、各主体（事業者・産業振興団体・金融機関・教育研究機関・市民）が相互に役割（※）を果たしつつ、連携・協働により取り組む
→ 「草津市産業振興審議会」において、毎年度、進行管理を実施
（※）草津市産業振興条例第5～10条に規定

○計画の全体像

持続可能な**未来**に向けて
新たな**価値**を生み出す

人が交わり・魅力あふれるまち **草津**

持続可能な**未来**を創造するため、草津市が丸となって新たな**価値**を生み出し、市内産業の活性化と雇用の創出を図り、更なる活気に満ちたまちづくりを進めることで、持続可能な「魅力あふれるまち」を創出するとともに、いつまでも活気にあふれ、だれもが“健幸”になれるまちを構築していきます。

目指すべき姿を実現するための3つの戦略

【戦略1】
イノベーションの
創出支援

～新たな価値の創造に向けた積極的な取組を支援する。～

【施策】

- 創業・第二創業の促進
- スタートアップ企業等の集積促進
- 多様な主体との連携の促進

【戦略2】
経営基盤の
強化支援

～経営基盤を強くし、事業者の発展と経営の持続性につなげる。～

【施策】

- 関係機関等との連携によるサポート体制の強化
- 多様な人材の活躍促進
- DXの実現に向けたデジタル化の促進
- 戦略的な企業立地・集積の促進

【戦略3】
活気に満ちたまちの
構築と承継

～社会課題の解決を目指し、地域特性・資源を生かしたまちを創出する。～

【施策】

- ゼロカーボンシティの推進
- 観光地域づくりを通じた地域の魅力向上
- 地域特性を生かした産業の活性化

計画の体系図（「戦略」→「施策」→「主な取組事例」）

【目指すべき姿】

【戦略】

【施策】

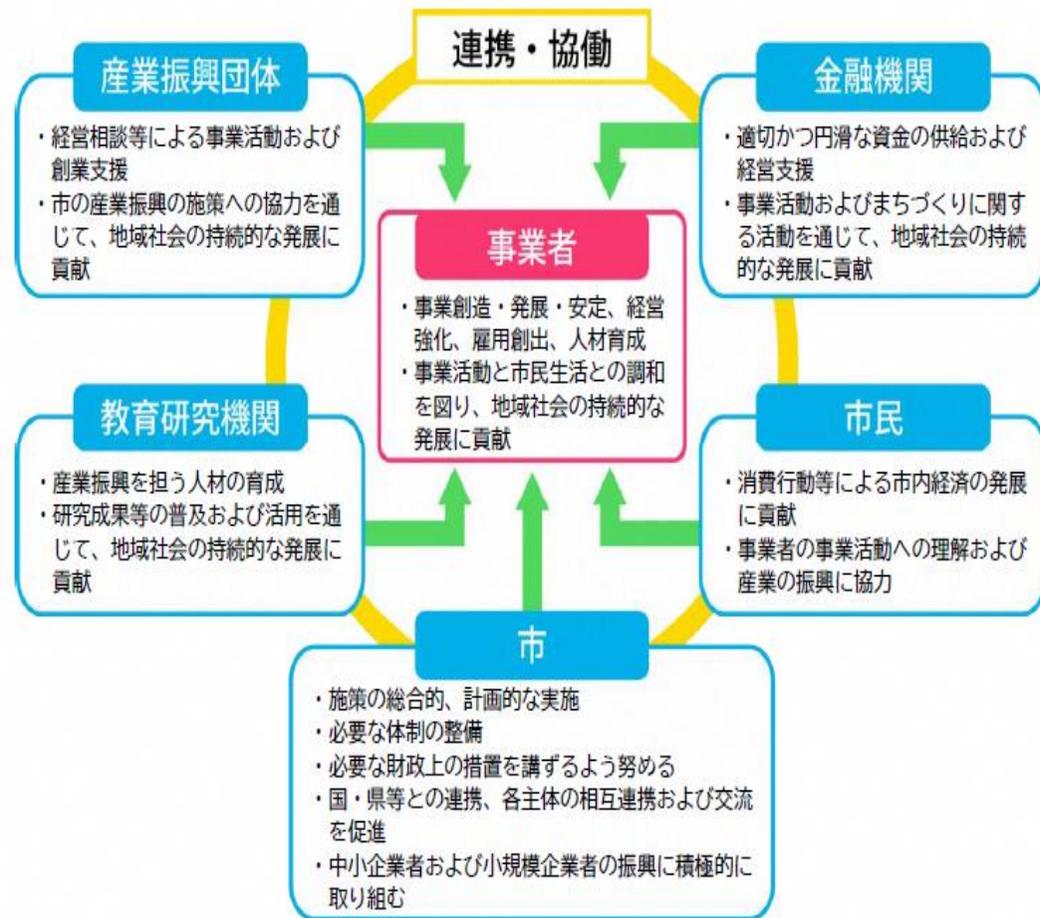
【主な取組事例】

持続可能な未来に向けて
人が交わり・魅力あふれるまち
新たな価値を生み出す
草津

【目指すべき姿】	【戦略】	【施策】	【主な取組事例】
<p>持続可能な未来に向けて 人が交わり・魅力あふれるまち 新たな価値を生み出す 草津</p>	<p>戦略 1 イノベーションの創出支援</p> <p>～新たな価値の創造に向けた積極的な取組を支援する。～</p> 	<p>創業・第二創業の促進</p> <p>スタートアップ企業等の集積促進</p> <p>多様な主体との連携の促進</p>	<p>① ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化 【重点取組】</p> <p>② 産業振興団体等と連携した多面的な創業支援</p> <p>③ 創業支援を通じたプロモーションの強化</p> <p>④ 企業オフィス等の立地適地の創出 【重点取組】</p> <p>⑤ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援</p> <p>⑥ 起業家同士の交流機会の創出</p> <p>⑦ 事業者間ビジネスマッチングの創出</p> <p>⑧ 産学官金連携による新たな価値の創出</p> <p>⑨ 社会実験等への協力支援</p>
	<p>戦略 2 経営基盤の強化支援</p> <p>～経営基盤を強くし、事業者の発展と経営の持続性につなげる。～</p> 	<p>関係機関等との連携によるサポート体制の強化</p> <p>多様な人材の活躍促進</p> <p>DXの実現に向けたデジタル化の促進</p> <p>戦略的な企業立地・集積の促進</p>	<p>① ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化【再掲】 【重点取組】</p> <p>② 販路開拓の支援</p> <p>③ 資金調達支援</p> <p>④ 事業承継の支援</p> <p>⑤ 多様な働き手の活躍促進</p> <p>⑥ 児童生徒等のキャリア形成の促進</p> <p>⑦ 関係機関と連携した人材確保等の支援</p> <p>⑧ DX化に向けたマッチング支援</p> <p>⑨ デジタルツールの導入支援</p> <p>⑩ デジタル人材の育成支援</p> <p>⑪ 企業の立地集積に向けた設備投資等の支援</p> <p>⑫ 企業オフィス等の立地適地の創出【再掲】 【重点取組】</p> <p>⑬ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援【再掲】</p>
	<p>戦略 3 活気に満ちたまちの構築と承継</p> <p>～社会課題の解決を目指し、地域特性・資源を生かしたまちを創出する。～</p> 	<p>ゼロカーボンシティの推進</p> <p>観光地域づくりを通じた地域の魅力向上</p> <p>地域特性を生かした産業の活性化</p>	<p>① 国・県等の支援制度の集約と情報発信</p> <p>② 事業者の取組事例の共有と交流機会の創出</p> <p>③ 産学官金連携による新たな価値の創出【再掲】</p> <p>④ 地域資源を活用したまちの賑わい創出</p> <p>⑤ 広域連携による観光の推進</p> <p>⑥ デジタルマーケティングを活用した観光の推進</p> <p>⑦ 商工団体の活動支援</p> <p>⑧ 空き店舗を活用した店舗誘致</p> <p>⑨ 企業オフィス等の立地適地の創出【再掲】 【重点取組】</p>

草津市産業振興計画の進行管理について

○各主体の役割(条例第5～10条)



○目標指標

■KPI (重要業績評価指標)

指標	基準値	目標値		
		中間 (R9 年度末)	期末 (R14 年度末)	
戦略1 イノベーションの創出支援				
KPI ①	市・商工会議所による創業支援者数	53 者 (R3 年度)	325 者 (延べ)	650 者 (延べ)
	内、創業者数	28 者 (R3 年度)	175 者 (延べ)	350 者 (延べ)
KPI ②	市コーディネータ等の活動による企業対応件数	660 件 (H29～R3 年度平均)	3,300 件 (延べ)	6,600 件 (延べ)
	マッチング成立件数	40 件 (H29～R3 年度平均)	225 件 (延べ)	450 件 (延べ)
戦略2 経営基盤の強化支援				
KPI ③	支援制度の活用による企業の施設更新件数および市内立地件数	4 件 (H29～R3 年度平均)	25 件 (延べ)	50 件 (延べ)
KPI ④	中小企業者・小規模企業者の事業計画策定および伴走支援件数	24 件 (R3 年度)	120 件 (延べ)	240 件 (延べ)
	内、売上増加件数(前年比)	8 件 (R3 年度)	60 件 (延べ)	120 件 (延べ)
戦略3 活力に満ちたまちの構築と承継				
KPI ⑤	愛する地球のために約束する協定者数 (「草津市気候非常事態宣言」賛同者数)	54 者 (R3 年度)	85 者	110 者
KPI ⑥	観光入込客数(日帰り・宿泊客)	220.7 万人 (R3 年)	332.0 万人	349.0 万人

■10年後の市内経済等の状況(モニタリング指標)

モニタリング指標	基準値	目指す方向	
		期末時点 (令和14年度末時点)	
市内総生産	7,453 億円 (令和元年度)	▲	増加 (基準比)
法人市民税納税義務者数	3,872 法人 (令和4年度)	▲	増加 (基準比)
市民(所得割の納税義務者数) 平均所得額	3,630 千円 (令和3年度)	▲	増加 (基準比)
二酸化炭素排出量	74.3 万 t-CO ₂ (令和元年度)	▼	減少 (基準比)

<概要>

創業希望者や事業者が抱えるビジネス上の課題に対する相談・支援体制を構築することにより、特に近年増加する創業相談や支援ニーズに効果的・効率的に対応することを目的として、草津商工会議所と共同で「くさつビズサポ（草津市ビジネスサポートセンター）」をR6.1に開設しました。

くさつビズサポは、草津市産業振興計画の重点取組として、新たな価値創造に向けた積極的な取り組みをサポートするため、創業や第二創業を中心に、創業前から創業後まで切れ目なく、ワンストップで事業者を支援します。



創業・独立のファーストステップ
くさつビズサポ

草津市ビジネスサポートセンター
Kusatsu Business Support Center



公式HP



公式SNS
(インスタグラム)

○事業内容

項目	内容
(1) 創業機運醸成	・ 創業者掘り起こしを目的に、ビジネスカフェや交流会等のイベントを企画・実施
(2) 創業個別相談	・ 創業希望者等を対象とした専門家による個別相談（伴走支援）【特定創業支援等事業】
(3) 経営スキル習得支援	・ 事業経営に必要な知識、スキルの習得を目的とした創業セミナー等の企画・実施【特定創業支援等事業】
(4) マッチング支援	・ くさつビズサポのコーディネータによる企業間、支援機関、大学等とのマッチング支援
(5) 情報発信	・ 公式HP、SNS等を通じた情報発信（支援制度、成功事例・創業者の情報発信等）

○主なスケジュール（予定含む）

6月26日	くさつビズサポカフェvol.1
7月～8月	創業セミナー
9月28日	創業マルシェ
11～12月頃	創業セミナー（計画中）
2月頃	くさつビズサポカフェvol.2（計画中）

(参考) ビズサポカフェの様子



【戦略1－施策1－②】産業振興団体等との連携による多面的な創業支援 (大学生を対象とした創業機運醸成イベント)

<概要>

草津市・大津市（南草津・瀬田エリア）は、立命館大学・龍谷大学などの教育研究施設が集積し、多くの学生が生活する活気に満ちたまちですが、卒業後は就職等の理由による市外転出が続いており、若者の定着がまちの課題となっています。そのため、両市は、立命館大学・龍谷大学と連携・協働し、『創業（起業）』をテーマにした創業機運醸成イベントを2年連続で開催しました。

地域に根差した創業者が増え、新たなビジネスやサービスが創出されることにより、多様化する地域ニーズや課題の解決につながる可能性を秘めています。大学が立地する地の利を活かして、大学生や若者による産業振興（創業）を促進するとともに、学生ならではの視点・アイデアを十分に生かすことができる魅力的なまちづくりを推進します。

センパイ起業家のみなさん



RYUKOKU UNIVERSITY 政策学部 2019 年度卒業生
株式会社 RE-SOCIAL 取締役
江口 和 さん
理想の循環型社会を目指すジビエの精肉販売など



RITSUMEIKAN UNIVERSITY 経営学部 4 回生
ドリギー株式会社 代表取締役 CEO
太田 晶景 さん
介護施設の食事摂食管理の課題解決サービス事業



RYUKOKU UNIVERSITY 文学部 4 回生
株式会社 VIBLA 代表取締役
西岡 拓真 さん
中小企業向けSNS運用代行事業など



RITSUMEIKAN UNIVERSITY 食マネジメント学部 4 回生
株式会社 SHUMICOLOR 代表取締役社長
藤原 光希 さん
キッチンカー事業など



(センパイ起業家 自己紹介)



(交流会)

項目	概要
日時	令和7年4月23日(水) 17~19時
主催	大津市・草津市・立命館大学・龍谷大学
場所	コミュニティ・バンク京信 瀬田支店(大津市大萱一丁目)
対象者	大学生
プログラム	①: センパイ起業家の座談会 ⇒立命館大学・龍谷大学所縁の起業家4名による自己紹介・座談会 ②: センパイとみんなで交流会 ⇒参加者同士のワークショップ(+センパイによるフォロー)
参加人数	23人 (立命大: 7人、龍谷大: 15人、その他: 1人)
当日の様子	前半は、学生からの「起業の際、こういった関係の方と共に起業したのか、またはおひとりか」「なぜ法人格を株式会社にしたのか」などの質問に対して、「友人と起業した。しかし会社経営をしていく中で、友人関係がギクシャクすることもある。会社の経営者としてではなく友人として食事する機会を持つなどして、友人関係が壊れないように気を配ることもある」「株式会社の社長になることに憧れがあったから」「投資を引き出す手段として株式会社とした」などと先輩起業家が自身の経験を基にディスカッションが行われた。 後半は、グループに分かれて「大学生が卒業しても住みたくなる新しいサービスなどのアイデアを自由に考えよう!」をテーマとして、様々なアイデア出しや意見交換を行い、最後の最後まで活発な交流が行われた。

【戦略1－施策2】
スタートアップ企業等の集積促進
(イノベーション集積拠点の創出)

【戦略2－施策4】
戦略的な企業立地・集積の促進
(新たな産業用地の確保)

【戦略3－施策3】
地域特性を生かした産業の活性化
(高付加価値型産業集積エリアの形成)

<概要>

本市には製造業を中心に**大企業のマザー工場**や**研究開発拠点が多数立地**しています。また、県南部地域には理工系学部を有する教育研究機関や公的インキュベーション施設が集積しており、更に、令和7年8月から立命館大学（BKU）内に『グラスルーツイノベーションセンター（GIC）』が新たに開設されたことで、**新たな価値（イノベーション）を生み出す環境が強化**され、**大学発スタートアップと既存企業等の連携・交流の促進（オープンイノベーション）が期待**されています。

このような本市の特徴（強み）を生かし、将来にわたって都市の活力を維持し続けるため、次の3つの取組を進めます。

【取組1】本市の強みを生かした『イノベーション集積拠点』の創出

【取組2】市内企業等の立地拡大を支援するための**新たな産業用地の確保**

【取組3】地域未来投資促進法等を活用した**高付加価値型産業集積エリアの形成**

■ 具体的な取組内容

【取組1】

- ・ G I C を拠点にした立命館大学とのスタートアップ支援の強化
- ・ 事業化検討パートナーとの共同による『イノベーション集積拠点』に関する事業成立性等の確認

【取組2】

- ・ 企業立地にかかる相談窓口の設置（推進員の配置）
- ・ 産業用地（候補地）の調査と確保に向けた検討

【取組3】

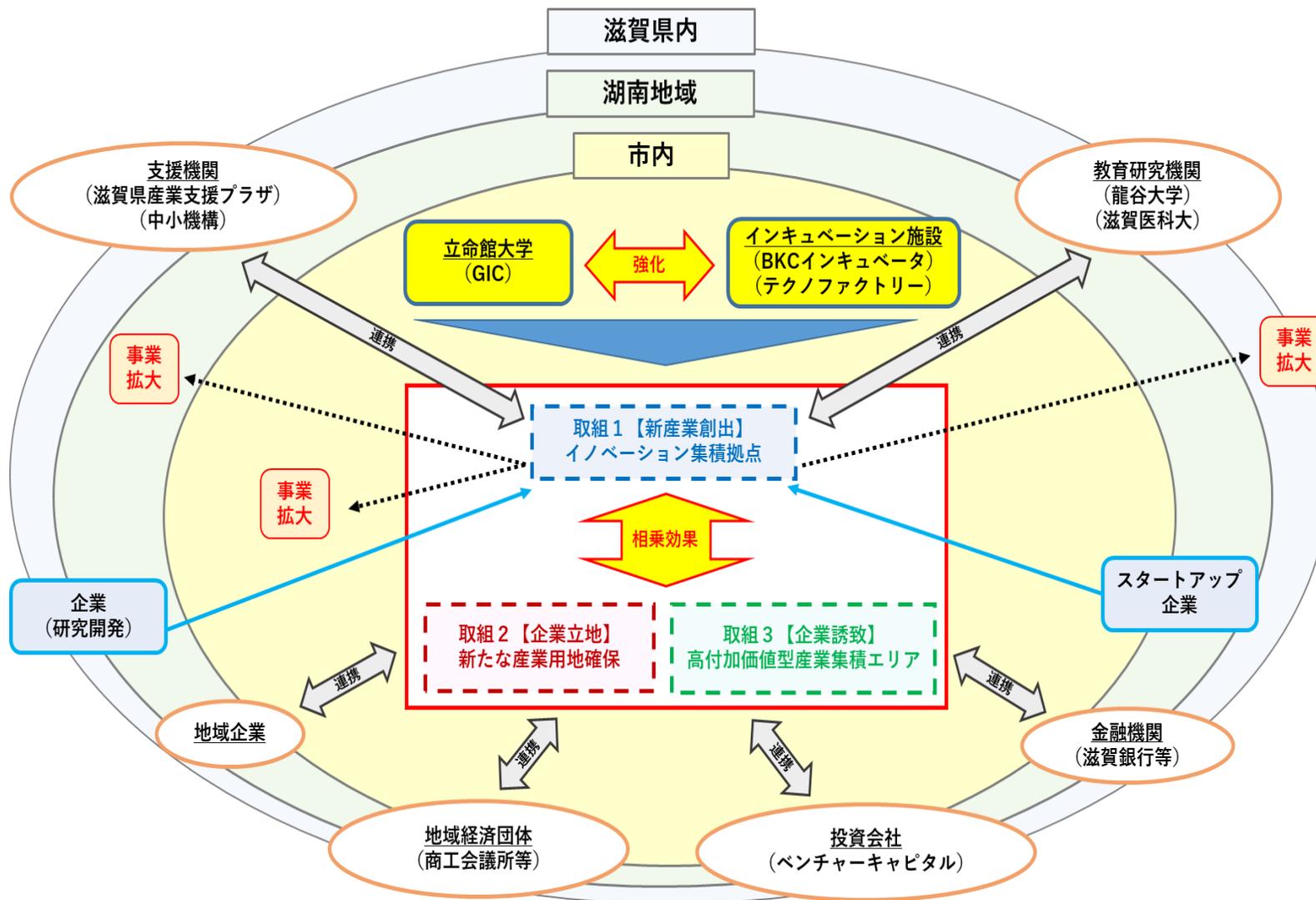
- ・ 地域未来投資促進法の活用による高付加価値型を生み出す企業誘致の検討

【戦略1－施策2】
スタートアップ企業等の集積促進
(イノベーション集積拠点の創出)

【戦略2－施策4】
戦略的な企業立地・集積の促進
(新たな産業用地の確保)

【戦略3－施策3】
地域特性を生かした産業の活性化
(高付加価値型産業集積エリアの形成)

<目指す企業立地・集積イメージ>



【戦略3－施策2－④】地域資源を活用したまちの賑わい創出 (草津市MICE誘致事業補助金)

<概要>

立命館大学、市内ホテル、草津市立プール、YMITアリーナ、キラリエ草津などの大型施設を活用し、MICEの積極的な誘致を図ることで、MICE参加者の経済消費活動を促進し、市内産業の活性化、観光振興に繋がります。

M
Meeting

企業が目的に応じて関係者を集めて行う会議

I
Incentive Travel

企業が従業員や代理店等の表彰、研修、顧客の招待等を目的で実施する旅行

C
Convention
Conference

国際機関・団体、学会等が主催または後援する会議

E
Exhibition

国際機関・団体、学会、民間企業等が主催または後援する展示会、見本市、イベント等

MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

参考 6/4から6/6まで開催された日本食品化学学会の様子

○補助メニュー

1 コンベンション等開催事業	
種類	補助金額
国際コンベンション	補助率：1/2 補助限度額：人数規模に応じて500千円～2,000千円/回
国内コンベンション	補助率：1/2 補助限度額：人数規模に応じて500千円～2,000千円/回
小規模コンベンション	補助率：1/2 補助限度額：宿泊人数に応じて3千円～300千円/回
2 エクスカーション実施事業	
種類	補助金額
市外開催されるコンベンションに付随して草津市内で実施される観光、視察等（2箇所以上）	補助率：1/2 補助限度額：借上げバス 70千円/台



実施主体

- （一社）草津市観光物産協会
- 草津市商工観光労政課